

資料1 令和2年度 予算編成方針について

1 本市の財政状況

令和2年度の財政見通し

令和2年度における本市の財政見通しについては、合併特例事業債の発行、普通交付税の合併算定替といった、これまでの合併団体に対する財政的な優遇措置の最終年度となる。

歳入では、景気回復による給与所得の改善等に伴う個人市民税や企業の設備投資等による固定資産税で増収が見込まれるが、法人市民税では、税制改正による一部国税化に伴う減収が想定される。市税全体では、前年度当初予算と比較し、同水準になるものと見込まれる。

地方交付税は、市町村合併による特例措置（合併算定替）の段階的縮減の影響等もあり減収になると試算している。

歳出では、斎場、クリーンピア射水、コミュニティセンターの整備のほか、高齢化に伴う社会保障関係費の増加が見込まれる。

併せて、第2次射水市総合計画後期実施計画の見直しに係る事業費の増加等を考慮すると、現時点において今年度を上回る財源不足が生じると捉えている。

2 予算編成方針

(1) 基本方針

厳しい財政状況の中にあっても、歳入歳出両面から不断の見直しに取り組むことで、第2次射水市総合計画後期実施計画を着実に推進することを予算編成の基本方針に掲げ、市民サービスの質の向上に努める。

加えて、国が掲げる「Society 5.0 実現の加速」といった新たな潮流を念頭に、引き続き、人口増加や将来の経済成長・行財政改革につながる事業等に取り組み、令和という新たな時代を切り拓き、持続可能で選ばれるまちづくりをさらに加速させることとする。

(2) 重点プロジェクト

第2次射水市総合計画の重点プロジェクト「射水未来創造プロジェクト」を構成する5つの政策分野について、十分配慮した予算編成を行う。

少子高齢化・人口増加に関する政策

安全・安心に関する政策

地域活性化に関する政策

環境に関する政策

人づくりに関する政策

3 予算要求について

今後も厳しい財政運営が想定されることから、自主財源の確保については、有料広告やネーミングライツの掘り起こしなど、新たな財源の確保をはじめ、民間活力の活用等に取り組む。依存財源については、国・県支出金及び市債において、新たな制度が設けられていないか動向を把握し、確保に努める。

併せて、最少の経費で最大の効果を上げるため、各種計画に掲げる成果指標に対する評価及び事業の有効性、効率性等を十分に検証するなど、引き続き、不断の点検・見直しを行った上で、次に示した予算要求基準に従って予算要求する。

(1) 経常的経費

一般財源ベースで令和元年度当初予算比マイナス3%シーリングとする。

(2) 政策的経費

一般財源ベースで令和元年度当初予算比マイナス5%シーリングとする。

また、今年度見直しをしている第2次射水市総合計画後期実施計画に掲げる事業については、必要性や優先度等を十分に検証した上で、提案時と比較し、事業費ベースでマイナス5%として要求する。

(3) 予算要求特別枠

新たな時代を切り拓くいみず特別枠

昨年度の特別枠（いみず新時代創生特別枠：活気と魅力にあふれる射水の創生につながる施策）については、引き続き、積極的な提案を受け付ける。

さらに、令和2年度当初予算編成においては、昨年度における特別枠の対象分野を拡大し、「Society 5.0」や「SDGs」といった新たな視点を踏まえ、本市の発展の歩みを着実に推進し、さらなる成長につなげていく施策について、効果的な提案を受け付ける。

行革推進特別枠

行財政改革推進の観点から、歳入創出・歳出改革の効果が高いと期待できる取組に係る一時的な財政負担については、引き続き、積極的、独創的な提案を受け付ける。

令和元年度に実施したRPA実証事業の結果を踏まえた利活用事業についても、併せて受け付ける。

4 予算編成スケジュール(予定)

- | | |
|---------|------------|
| 1月1日(金) | 予算要求書の提出締切 |
| 1月中旬 | 市長査定 |
| 2月下旬 | 予算(案)の発表 |